

ジェイムズ・F. チルドレス教授 公開講演会

1月13日（日） 14:00-16:00

東京大学本郷キャンパス 文学部法文1号館 219教室

“THE SECULARIZATION OF BIOETHICS”

MYTH OR REALITY?

「バイオエシックスの世俗化—神話か、現実か?—」

ジェイムズ・F.チルドレス

ヴァージニア大学 宗教学科 教授

同大学 実践倫理研究所 所長

ヴァージニア大学のジェイムズ・F. チルドレス教授が来日されます。この機会にグローバル COE「死生学の展開と組織化」では、チルドレス教授の公開講演会を開催することとなりました。

チルドレス教授は、バイオエシックス創設初期から、生命をめぐる倫理問題に多くの問題提起をされてきた宗教学者であり、また生命倫理の古典として世界中で読まれているトム・ビーチャムとの共著『生命医学倫理の諸原則』の著者でもあります。

御講演では、「バイオエシックスの世俗化」と言われる生命倫理の動向（バイオエシックスが学問として確立し、制度化するにともなって、その創始期において影響力があった神学者の役割が小さくなり、世俗的なバイオエシックスが主流となっていた過程）を鑑みながら、その「世俗化」の内実及びそうした動向が「世俗化」として言及されること自体の妥当性に関して、踏み込んだ御考察を頂きます。

（英語による講演、日本語訳稿あり、また、討議は通訳つき）

【主催】：東京大学大学院人文社会系研究科グローバル COE「死生学の展開と組織化」

TEL&FAX：03(5841)3736（内線 23736） / E-mail：dals-coe@l.u-tokyo.ac.jp

【共催】：「意識の先端的脳科学がもたらす倫理的・社会的・宗教的影響の調査研究」

研究班（研究代表者：福山秀直（京都大学）、文部科学省・科学技術振興調整費）

